

# 自動火災報知設備

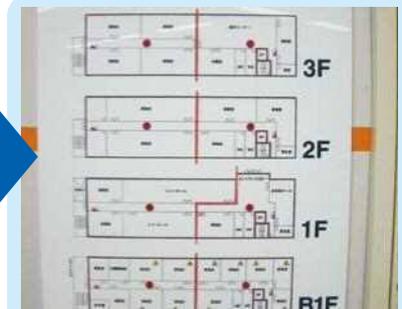
## ベルが鳴ったとき



①ベルが鳴ったら



②受信機のランプが点灯している表示窓を確認する



③警戒区域一覧図で異常発生場所(範囲)を把握し、現場確認に向う



④現場確認に向う時の携行品  
(消火器、送受話器、ライト、  
マスターキー、メガホン等)



消防計画に基づく

- ・初期消火
- ・通報連絡
- ・避難誘導

を実施する

受信機によっては、連絡用の送受話器が設置されています。送受話器を携行し、連絡に活用します。

発信機側



発信機の小窓内にある電話ジャックに、送受話器のプラグを差込む

受信機側



受信機の電話灯に表示が出て、呼出音が鳴ったら、電話ジャックに送受話器のプラグを差込み応答する

# 現場確認の結果火災でなかったとき



①ベルを止める  
(主音響・地区音響共)



作動表示灯

②表示区域内の感知器を確認し作動表示灯が点灯しているものを捜す



③発信機のボタンを復旧する  
(復旧方法は、ボタンを引き戻すタイプと小窓内の復旧スイッチを押すタイプがあります)



④復旧スイッチを操作する



⑤主・地区音響スイッチを定位に戻す



## チェックポイント

- スイッチ注意灯が点滅していませんか
- 主音響及び地区音響スイッチが停止になっていませんか
- 警戒区域一覧図はありますか
- 携行品は備えてありますか

発信機上部の表示灯が点滅、または消火栓起動表示灯が点灯している時は、最後にポンプ停止操作が必要となります。